

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	伊達市ひまわり園		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援に有効な構造化、視覚的支援を取り入れていることで利用児の気持ちの安定や、成長が見られる。	利用児ひとりひとりに合った支援を考え提供している	利用児ひとりひとりのアセスメントを取り、成長過程や特性を理解し支援していく
2	職員間のチームワークの良さがある。業務の分担がされており、日々のミーティングで都度確認をし、業務が逼迫しないようにしている。	日々のミーティング、職員間で業務連絡としてグループLINEの活用をしている。保護者からの伝達事項は漏れがないように日誌への記入や朝の打ち合わせで情報共有している。	職員会議、ケース検討会を月1回開催し、同じ方向での支援を今後も強化する
3	自然豊かな環境のため、戸外活動の充実。また同じ法人内の放課後等サービスがある為連携のし易さ、保護者が見通しを持ちライフステージを考えられること。	放課後等サービスの児童との交流や体育館、園庭を使用した運動スキルの充実。	季節に応じた活動内容を考え、今後も提供していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	廃校後の小学校を事業所として使用している為、未就学児にとっては身体に適していない部分がある。修繕をしてからの使用ではあったが、できないところもあり危険なことがないように気をつけている。	今後、修繕できるところは検討し、難しいところは代替を考え利用児が安心して過ごせる環境作りを考えていく。	過ごしやすい、支援しやすい環境作り
2	事業所の場所が市街地から離れているため、保護者の送迎の負担があり、利用児が減少している	送迎サービスを行っていなかったが、今後送迎サービスを業務の中に入れ無理のない範囲で行っていく	距離を検討し送迎範囲の中で送迎サービスをして園児確保に繋げていきたい
3			